

金融業界横断データ連携による地域課題の解決

一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA）
金融業界横断データ連携 PF WG 長（みずほ第一 FT）井口 亮 氏

<プロフィール>



2008年3月筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻博士課程修了、博士（工学）。

同年4月みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社に入社。

以来、金融機関・事業会社向けデータ分析業務・コンサルティング業務に従事。

現在、同社 データアナリティクス技術開発部長・チーフデータサイエンティスト。
一般社団法人金融データ活用推進協会（FDUA）では、金融業界横断データ連携プラットフォームのワーキンググループ長として活動中。

主な著書に「金融データ解析の基礎」（共著、共立出版）がある。

<講演概要>

金融機関のデータはオープン化が進まず、活用可能性は大いにあるものの、取組はまだ途上である。

個別の金融機関で得られるデータは限定的であるため、業界横断のプラットフォームが必要となってくる。

これが実現することで、地域間連携を梃にした新たなバリューチェーンの創出および各地域企業のDXが進み、地方創生への貢献が期待できる。

本講演では、金融業界横断データ連携による地域課題の解決に向けた取組について紹介する。